

兵解協だより

たつの市と「災害時における緊急時及び被災建築物の解体撤去の協力等に関する協定」(以下「防災協定」と言う)を締結いたしました。

(一社)兵庫県解体工事業協会はこれまで、兵庫県知事、神戸市長、姫路市長、兵庫県警察本部長と「防災協定」を締結し、大規模災害時に備え、協力体制を強化してまいりましたが、この度さらにたつの市長と「防災協定」を締結いたしました。

令和6年1月15日(月)たつの市役所に於いて、上原会長、坂本副会長、宮田副会長、浦岡理事、三木理事、金顧問、協会の会員でたつの市に本社がある(株)イボキンの高橋代表取締役、たつの市の山本市長、田中副市長、内田危機管理監の立会いのもと協定締結式が行われました。

今回の「防災協定」締結により、兵庫県解体工事業協会では、たつの市域で地震等の自然災害が、発生した場合、被災した建築物などを解体撤去するために必要な人材、車両、資機材等を緊急かつ円滑に調達するとともに災害に備え平時から同市との連携強化を図ります。協定締結後にたつの市の山本市長は「本日兵庫県解体工事業協会と協定を結ばせていただき、災害時に迅速な対応をしていただけることを本当にうれしく思っています。南海トラフ地震は、今後30年で70%から80%の確率で発生すると言われております。地震が発生した際の復旧の備えができたことは素晴らしいことです。みなさま、本当によろしくお願ひ致します。」と「防災協定」の締結に感謝を述べられました。それを受けた上原会長は「この度の能登半島地震で被災された方々に心からお見舞い申し上げますと共に一日も早い復旧と復興をお祈り申し上げます。本日たつの市と兵庫県解体工事業協会との「防災協定」がこの様に無事締結できましたことはこのうえない喜びです。我々兵庫県解体工事業協会は、これまで、兵庫県、兵庫県警、神戸市、姫路市と「防災協定」を締結しており、この度、たつの市と「防災協定」を締結することになりました。我々の協会は、災害時に様々な協力ができる協会です。益々、その体制を整えるべく日々邁進してまいりますので、引き続きよろしくお願ひいたします。」と災害時の協力を誓いました。



挨拶をする山本市長



挨拶をする上原会長



「防災協定」の締結式

